

# 謹賀新年



常陸大宮市長  
矢数 浩

## 「豊かな自然と調和した 安心・快適な活力のまち」 を目指して

新年明けましておめでとうござい  
ます。

皆様におかれましては、輝かしい  
希望に満ちた新春を健やかにお迎え  
のことと、心からお慶びを申し上げ  
ます。

旧年中は、市政全般にわたり、温  
かいご支援、ご協力を賜りまして、  
深く感謝申し上げます。

皆様ご承知のように、常陸大宮市  
も平成16年10月に合併して、3年が  
経過いたしました。お陰様をもちま  
して、事務事業につきましては、順  
調に推移しており、市の一体化に向  
けての事業を推進しておるところで  
ございます。

さて、現在、本格的な人口減少・  
超高齢社会の到来、核家族化の進  
行、社会構造の複雑化、グローバル  
化の進展などにより、本市を取り巻  
く環境も大きく変化をしております。  
また、地方での経済状況が大変  
厳しい中で、三位一体の改革が進め  
られ、特に、中山間地域である当地  
域は、財政状況も厳しい状況が続い  
ております。

このような中、当市におきまして  
は、常陸大宮市総合計画に沿って、  
将来像の「豊かな自然と調和した  
安心・快適な活力のまち」の実現に  
向けて、福祉施策をはじめ、市の面  
積の約60%を占める森林に対する林  
業振興対策、宮の郷工業団地への積

極的な企業誘致等の商工業対策、さ  
らには、農林、都市基盤の整備、教  
育環境の整備などを積極的に推進  
し、地域の活性化を図り、人口の定  
着や都市住民との交流拡大につなげ  
て参りたいと考えております。

なお、昨年11月には、国民的行事  
でもあります「第20回全国健康福  
祉祭茨城大会・ねりんピック茨城  
2007」が当市で実施されたこと  
ろでございますが、今年も国民的行  
事であり「第23回国民文化祭・  
いばらき2008」が当市文化セン  
ターで開催されます。全国からたく  
さんの選手、役員をお迎えするわけ  
ですので、この機会に、常陸大宮市  
のPRに取り組んでまいりたいと考  
えております。

これからも、本市の誇りでもある  
豊かな自然を守り、活かしながら、  
地域の個性・魅力が一体となった、  
誰もが安心・快適に暮らすことがで  
きる活力あるまちづくりを、市民の  
方々と行政が手を取り合って進めて  
いく所存でございますので、今後と  
も皆様のなお一層のご理解と、ご協  
力をお願い申し上げますとともに、  
皆様方のご健勝とご多幸を心からお  
祈りいたしまして新春のご挨拶とい  
たします。

## 干支の豆知識

皆さんは、十二支の由来をご存知ですか。

十二支は、中国の王充<sup>おういっ</sup>という人が、民衆に十二支を浸透させるため、抽象的な数詞を覚えやすく馴染み易い動物に替えて文献を書いたことから始まります。

十二支が日本に伝わったのは、6世紀半ば頃で、江戸時代には一般市民の間に浸透しました。

干支があるのは、日本と中国だけだと思いませんか？実は、日本とは別の動物がいる十二支を使っている国々もあります。例えば、チベットやタイでは、兎の変わりに猫になっていたり、モンゴルでは虎の変わりに豹になっていたりします。ぜひ、皆さんも調べてみてはいかがですか。

さて、今年は鼠<sup>ねずみとし</sup>年。鼠といえば、食べ物や家具などがじり損傷をもたらすなど、あまりいいイメージがありません。しかし、鼠の縁起話に、すぐに子ねずみが増え成長することから、子孫繁栄の意味があるというのがあります。

現在の社会は、少子化。常陸大宮市においても同じです。私たちの未来を担う子どもたちが健やかに成長できるように、家庭、学校、地域、行政など、社会全体で子どもたちを温かく見守りましょう。



常陸大宮市会議長  
駒田 強

## あすのまちづくりへ 心新たに改革を

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

月日が経つのは早く、今年後半には、議員の任期も三年目に入ることとなります。この間、急速に進展する地方分権の流れは、地方自治法の改正を伴う形で具現化され、当議会といたしましたも、議員提案により、議会議規則や委員会条例など6件の改正を行い、その対応に万全を期したところでございます。

併せて議会では、執行機関に対する議会本来の在り方を検討し、議会のチェックと監視機能を強化するため、審議会等付属機関の委員への議員の就任を原則辞退することといたしました。

こうした議会改革によって、議会の自立性を高め、議会と執行部との緊張感のある議論の場を担保し、第二期地方分権改革で求められる地方の自立と、自己決定・自己責任原則の徹底に耐え得る審議体制を整えたいと考えております。

昨年末に、行財政改革調査特別委員会が、約一年にわたって調査した結果の最終報告がありました。近くお手元にお届けいたしますので、ぜひお目通しいただき、お気付きの点などを、お寄せくださいますようお願いいたします。

他市町村に先駆けて特別委員会が示した改革案の推進を図るため、新たに、行財政改革推進調査特別委員会を設置いたしました。改革が、皆様の目に見える形となって現れ、皆様に実感として受け止めていただけるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

さらに、議会としての説明責任を果たすため、議会広報を一層充実させるとともに、皆様と議員との対話、懇談等の機会の拡充を図り、皆様に開かれた、より身近に感じてもらえる、皆様の声の届く議会を目指してまいります。

何卒、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。